

| 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書  |                                |   |                       |     |  |
|--|--------------------------------|---|-----------------------|-----|--|
| Ⅰ 工事概要   |                                |   |                       |     |  |
| 1 建設工事名<br>西宮海地区交流センター高圧機器改修工事   |                                |   |                       |     |  |
| 2 建設工事場所<br>所在地：〒650-0000 兵庫県 西宮市 立花二丁目 地内                                   |                                |   |                       |     |  |
| 3 建築物概要  |                                |   |                       |     |  |
| 建物(棟)名称  | 構造                             | 階数  | 延床面積(m <sup>2</sup> ) | 備 考 |  |
| 西宮海地区交流センター  | R C                            | 2   |                       |     |  |
|  |                                |   |                       |     |  |
|  |                                |   |                       |     |  |
|  |                                |   |                       |     |  |
| 4 工事科目 (○印のあるものを)  |                                |   |                       |     |  |
| ●電灯設備(電灯制御、電灯分岐、コンセント分岐)   | ●誘導支援設備(音声誘導装置、インターホン、トイレ呼出)   |   |                       |     |  |
| ●動力設備(動力幹線、動力分岐)   | ●テレビ共用受配設備                     |   |                       |     |  |
| ●電熱設備  | ●監視カメラ設備                       |   |                       |     |  |
| ●警報設備  | ●駐車場管制設備                       |   |                       |     |  |
| ●防災設備  | ●防犯・入退室管理設備                    |   |                       |     |  |
| ●電力制御設備(通信電源、交流無停電電源)  | ●火災検知設備(自動火災報知、自動閉鎖、非常照明、ガス漏れ) |   |                       |     |  |
| ●冷暖房設備   | ●中央空調制御設備                      |   |                       |     |  |
| ●屋内情報通信網設備   | ●屋内外配電回路                       |   |                       |     |  |
| ●屋内交換設備  | ●屋内外通信ケーブル                     |   |                       |     |  |
| ●情報表示設備(出入・情報表示、電気時計)  | ●テレビ電波障害予防                     |   |                       |     |  |
| ●映像・音響設備   | ●昇降機設備                         |   |                       |     |  |
| ●放送設備  |                                |   |                       |     |  |
| Ⅱ 仕 様  |                                |   |                       |     |  |
| 1 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、下記の国土交通大臣官庁審判官業務総監の仕様書(令和 7年度)による。                    |                                |   |                       |     |  |
| ○公共建築工事標準仕様書(建築工事編)  |                                |   |                       |     |  |
| ○公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)  |                                |   |                       |     |  |
| ○公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)  |                                |   |                       |     |  |
| ○公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)  |                                |   |                       |     |  |
| ●建築物防火共通仕様書  |                                |   |                       |     |  |
| 2 標記品は以下(令和 7年度)による。(建築工事標準詳細は令和7年度)   |                                |   |                       |     |  |
| ○建築工事標準詳細書   |                                |   |                       |     |  |
| ○公共建築標準工事標準図書(電気設備工事編)   |                                |   |                       |     |  |
| ○公共建築標準工事標準図書(機械設備工事編)   |                                |   |                       |     |  |
| 3 設計図書に明記がない場合、又は相違がある場合は、原則として監督職員の指示によるほか、次の優先順位により決定する。                   |                                |   |                       |     |  |
| (1) 質疑回答書(〔2〕～〔5〕に対するもの) (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 標準仕様書                |                                |   |                       |     |  |
| 4 特記仕様   |                                |   |                       |     |  |
| (1) 項目は全て適用する。   |                                |   |                       |     |  |
| (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。<br>○印のない場合は、※印を適用する。 ○印と ※印の付いた場合は、共に適用する。 |                                |   |                       |     |  |
| 科目   | 項 目                            | 特 記 事 項   |                       |     |  |
| 一般事項   | ①法令その他                         | この工事は、工事に関係する法令、条例及び規定等に基づいて施工する。官公署の検査を必要とする工事については、工事完了後までに検査を受ける旨の事前証明書の交付を受ける。  |                       |     |  |
|  | ②工事実施情報の登録                     | 受注先又は契約発注者から工事代金500万円以上の工事について、工事実施情報「エ」(OIRIS)に登録すること。また、契約変更により工事費負担金額が500万円未満になった場合は、すやみかへ契約変更前の工事登録を削除すること。なお、契約金額の変更登録は、完成時のみにする。  |                       |     |  |
|  | ③工事の一時中止                       | 麻痺性建設工事請負契約約款第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画書(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承認を受けるものとする。 なお、基本計画書は、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機材器具等の諸に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。また、工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に係る工事現場を確保すること。 |                       |     |  |
|  | ④施工区域の権利                       | 施工区域の著作権に係る当該建築物に係る費用は発注者に移すものとすると。   |                       |     |  |
| 仕工程序   | ⑤工事写真                          | 常設工事写真撮影要領令和5年版及び 国土交通大臣官庁審判官業務総監の「常設工事写真撮影要領(令和5年版)」による工事写真撮影ガイドブック、電気設備工事編 令和5年版)によるほか、監督職員の指示により撮影する。  |                       |     |  |
|  | ⑥監理事務所                         | ※ 設けない ・ 設ける ( ) 既存建物内の一部を使用する ・ 構内に新設する ( )  |                       |     |  |
|  | ⑦工事用水電力等                       | 本工事に必要な工事用水力・水等は受託者の負担とする。  |                       |     |  |
|  | ⑧工事用仮設備                        | 敷地内につくることが ※ できる ・ できない   |                       |     |  |
|  | ⑨電気工事士                         | 最大電力500kW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。   |                       |     |  |
|  | ⑩電気保安技術者                       | 電気保安技術者の選定については、標準仕様書のほか監督職員が認めるものとする。  |                       |     |  |
| 資材・環境  | ⑪発生材の処理                        | (1) 引渡しを要するもの ( )<br>(2) 特別管理産業廃棄物 ( )・PCB使用機器 ( )<br>(3) 再資源化を図るもの ( )・蛍光灯・白熱灯・H I D 灯 ( )<br>(4) 発生材保管、取捨場所が必要なもの ( )   |                       |     |  |
|  |                                | 照度器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離し保管ボックス(鋼板製)に納めて建物管理者に引き渡す。また、変圧器、コンデンサ等を廃棄しようとする場合は、PCB含有物の取扱いは有権者について確認し、入庫の可否が判定・確認できない場合は、PCB廃棄物として保管受入れに指定された場所に保管する。   |                       |     |  |
|  |                                | 建設廃棄物の処理にあつたときは建設廃棄物処理計画書を提出すること。   |                       |     |  |

|    |   |
|----|---|
|    | 工事仕様書によるほか次のとおり。  |
| 11 | 分電盤、制御盤、配電盤等<br>(1) 扉の厚みが、端子受け及び導線収納部にあつては800mm、制御盤にあっては900mmをこえる場合は原則として両側とする。<br>(2) 縦向き、寸法・重量等を考慮しない丈夫なものとし十分な耐久性能を保つ構造とする。<br>(3) 屋外用の盤類は水が浸入しない構造とし、計器等は継入口でガラスとする。<br>(4) 盤類の色は次による。<br>※ マンセル 2.5/19 ※ 色なし ○ 指定色 ( )<br>(5) 屋外用の閉鎖装置及びボルトボックスは、次に示る。<br>※ 鋼製 ※ 樹脂製 ※ ステンレス製 ※ 図案による<br>(6) O型の端子蓋部に通気孔又は冷却ファンを設ける。仕様はメーカー仕様に準ずる。   |
| 12 | 電線類<br>※ 環境対策型電線（EM電線）<br>※ 非環境対策型電線（ビニル電線）   |
| 13 | 架空電線<br>特記なき電柱の、除金がいし、支脚その他の装材材は、電力会社仕様による。   |
| 14 | 電力・電話の引込み<br>電力及び電話経路引線の引付方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打合わせの上監督員との協議により施工する。また、外線工事負担金などの請求報告を監督職員に対し速やかに行う。申請書類作成を行い、申請手続に関する費用は発注者の負担とする。  |
| 15 | 最上階の理込配管<br>最上階の天井スラブへの理込み配管は、原則として避けるものとする。  |
| 16 | 位置ボックス等<br>ケーブル送り配線となる天井埋込照明器具、スピーカ及び感知機の位置ボックスは不要とする。  |
| 17 | 防護柵<br>屋外キューピクルの周囲に防護柵を設置する場合は、高さ1.8m以上とする。<br>建築工事に含まれる場合には協議を要する。   |
| 18 | 地中電線<br>(1) ハンドホールの蓋<br>地下配結線の敷金は、破壊荷重と次の事項を確認点とする。<br>・ 地中配結線の用途（「電気」、 「通信」等）<br>(2) 地中配結線の埋深など<br>地中配線で特記なき埋深は少なくとも0.6m以上とする。<br>(3) 次の箇所には原則として護符標を設ける。<br>イ 建物およびハンドホールへの出入口及び引出口付近<br>ロ 地中線の曲折箇所<br>ハ 距離部分では30mごとに1根（30mに満たない場合はその中間に1根）<br>ニ 連絡箱設置所   |
| 19 | 自立型アンテナマストのベースアンカー<br>自立型アンテナマスト及び自立型避雷設備等のベースプレートのアンカーボルトの設置間隔は500mmを標準とする。  |
| 20 | 電線保護用類<br>(1) 合成樹脂製可とう電線管（PＦ管）及び付属品<br>タイプZSを使用するものとする。<br>電力用位置ボックス類は、合成樹脂製又は鋼製とする。銅板製とした場合は管内に接地線を付加し、当該接続ポイントボンディングを施すものとする。<br>ただし、これより難い場合は監督職員と協議する。<br>(2) 金属製造出資槽<br>次の管路は、塗装を行う。ただし、溶接面を除き加工された電線管を除く。<br>○ 露出外 ※ 配接管を除く埋込で見えがかり部分 ( )<br>(3) ケーブル配線の保護管等は、標準仕様者金属管用電線管、合成樹脂管配線の項による。<br>(4) 新設電線の管の角度<br>ケーブル収容する管の１区間の屈曲箇所は３箇所以内で曲げ角度の合計は180°以内とする。ただし、通路及び管内の電線の引き替えが容易に行えるように施工する場合はこの限りでない。<br>(5) 壁巻配管等で人が容易に触れるおそれのある部分（２cm以下）の配管支持材には保護キャップ等の安全措置を施すものとする。 |
| 21 | 照明用ボール<br>照明用ボールは、次による。<br>※ 配管用遮断器又はカットアウトスイッチを設ける。仕様についてはメーカー仕様に準ずる。<br>・ 配管用遮断器又はカットアウトスイッチが内蔵できるものとする。  |
| 22 | 配線器具<br>(1) スwitchは原則としてペタンク式とし、器具の場所を表示する。<br>(2) フラッシュプレート<br>※ 新金屬 ※ ステンレス ※ 合成樹脂<br>(3)フロアプレートは水平高価調整型（電動形または形式た工具挿付制）とする。<br>※ アルミ製 ※ 黄銅製<br>(4) 免電機回路に接続されるコンセントは、原則として赤色とする。<br>(5) コンセントには回路番号を表示する。  |
| 23 | 屋外の支持金物<br>電線管等の屋外支持金物は、原則として次による。<br>※ ステンレス製 ※ 亜鉛メッキ  |
| 24 | 機器姿勢<br>姿頭の形状及び寸法は概略を示す。  |
| 25 | 照度測定<br>照明器具を新規、改修した部屋の照度<br>※測定する ・ 測定しない<br>測定箇所等は監督職員の指示による  |

(注)

-

作業

-

関係

---

藤枝市市民協働センター交流センター高低機械修繕工事
西浜地区交流センター高低機械修繕工事

R8年6月

日名

日名

電気設備工事特任技師

1/2

3-1

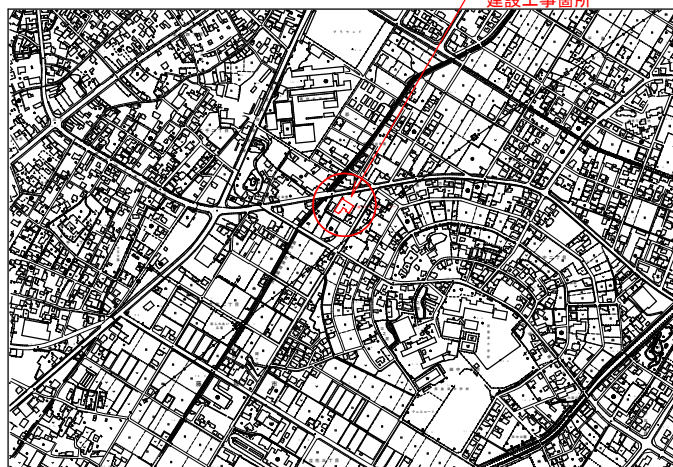


# <工事概要>

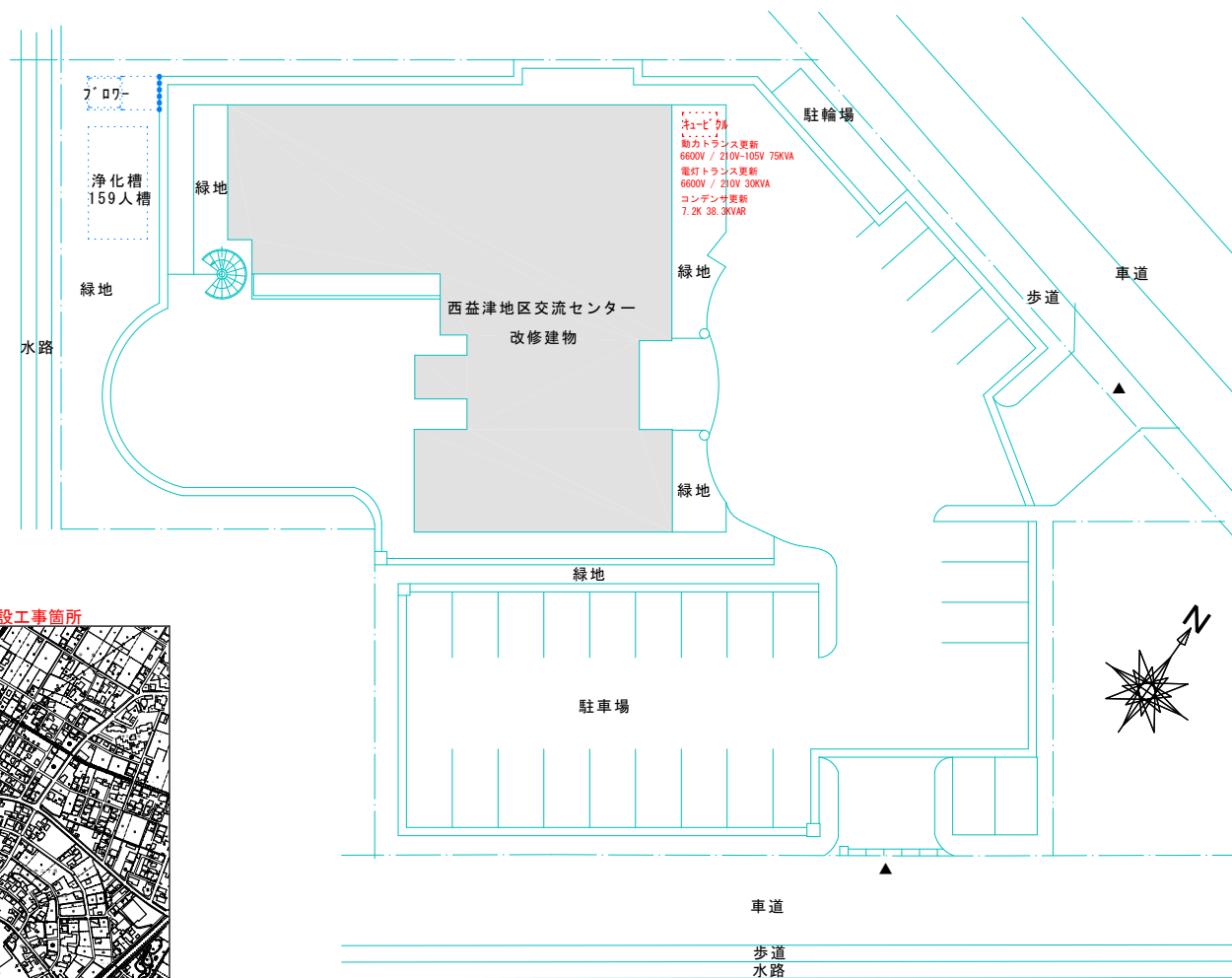
建設工事名 西益津地区交流センター高圧機器改修工事  
 建設工事箇所 藤枝市 立花二丁目 地内  
 工 期 令和9年2月26日まで  
 工 事 概 要 トランス更新 N=2台、コンデンサ更新 N=1台

## 留 意 事 項

- ・ 既設駐車場を利用した施工計画とすること。
- ・ 支障となる植栽は、施設管理者及び監督員と協議の上 剪定を行うこと。
- ・ 停電日は施設の休館日を利用して実施すること。
- ・ 上記に配慮した施工計画・工事工程を組むこと。



案内図



配置図 S=1/300

藤枝市役所市民協働部協働政策課

静岡県藤枝市岡出山1丁目1.1-1

建設工事名

西益津地区交流センター高圧機器改修工事

図面名

工事概要、案内図、配置図

縮尺

日付

図 示

設計年月日 R8.6.1

図面番号

3 葉中 3 号